

平成29年度～令和6年度



国分寺市 総合ビジョン

Kokubunji City Comprehensive Vision

令和3年度～令和6年度

国分寺市ビジョン後期実行計画

概要版



令和3年3月

国分寺市ビジョン後期実行計画 の策定にあたって



国分寺市では、平成 29 年 3 月に『国分寺市総合ビジョン』を策定し、基本構想である『国分寺市ビジョン』に掲げた「魅力あふれ ひとつつながる 文化都市国分寺」という未来のまちの姿の実現に向けて、様々な施策を推進してまいりました。

平成 30 年 2 月には再開発ビルが、令和 3 年 2 月には国分寺駅北口駅前広場がそれぞれ竣工^{しゅん}し、長年の課題であった国分寺駅北口再開発事業が完了しました。また、災害対応の拠点としても重要な役割を担う庁舎について、泉町都有地に移転することを定める条例が令和元年 12 月に市議会で可決され、令和 6 年度の竣工を目指して事業を本格化させており、さらには、子育てしやすい環境の充実、誰もが安心して幸せに暮らし続けられる地域福祉の推進など、未来のまちの姿に向けた取組が着実に前へ進んでいます。

一方で、令和 2 年 1 月に国内で初めて感染者が確認された新型コロナウイルス感染症は、私たちの日々の生活に大きな変化をもたらしています。感染拡大防止のため、飲食店を中心に休業や営業時間の短縮を求められるなど、多くの事業者が非常に厳しい経営を強いられており、地域経済に対する大きな影響が懸念されています。

このような状況の下で、令和 3 年度から令和 6 年度までを計画期間とする『国分寺市ビジョン後期実行計画』をスタートさせることとなります。本計画に位置付けた各施策は、コロナ禍において展開していくことを前提としながら、令和 6 年度を達成目標年度とする未来のまちの姿の実現を目指していくものですが、「アフターコロナ」も見据え、必要に応じて施策や中心事業の見直しを行い、時々刻々と変化する社会情勢に柔軟に対応してまいります。

また、本計画では、「誰一人取り残さない」という SDGs の基本理念の一つを根幹に掲げており、幅広い関係者や関係団体と協働・連携しながら、急速な社会環境の変化やコロナ禍で浮き彫りになった課題を克服しつつ、将来にわたり持続可能なまちづくりを目指しています。そのために、『国分寺市ビジョン』で掲げる「ともに進める」、「ともに高める」、「ともにつなげる」というまちづくりの基本理念を念頭に、市民・事業者等の皆様とともに更なる取組を進めてまいりたいと考えておりますので、特段のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、『国分寺市ビジョン後期実行計画』の策定に当たり、市議会をはじめ、国分寺市ビジョン後期実行計画等策定検討会議、市民ワークショップ、市民アンケート等を通じてご協力いただきました多くの市民の皆様、また、計画案に係る意見照会やインタビューにご協力いただきました事業者等の皆様に、心より感謝と御礼を申し上げます。

令和 3 年 3 月

国分寺市長

井澤 邦夫

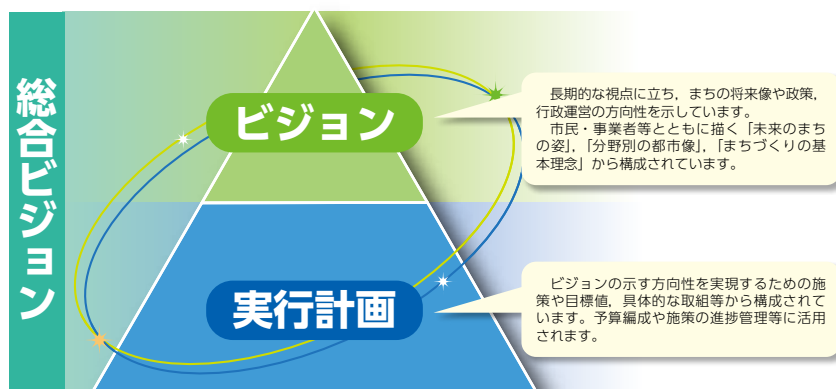
国分寺市総合ビジョンとは

国分寺らしい持続可能なまちづくりを展開していくことを目指し、市では平成29（2017）年度から8年間を計画期間とする『国分寺市総合ビジョン』（以下「総合ビジョン」といいます。）を策定しています。

『総合ビジョン』はまちづくりの最上位計画として位置付けられ、基本構想である『国分寺市ビジョン』（以下「ビジョン」といいます。）では、「魅力あふれ ひとがつながる 文化都市国分寺」という未来のまちの姿を定めています。市民・事業者等とまちの将来像（ビジョン）を共有し、進むべき方向を明らかにすることにより、オール国分寺でまちづくりを推進しています。

総合ビジョンの構成

『総合ビジョン』は、総合的かつ計画的な市政運営を図るための基本構想である『ビジョン』と、その実現のための具体的な取組等を定めた『国分寺市ビジョン実行計画』（以下「実行計画」といいます。）の2層から構成されています。



総合ビジョンの計画期間

国分寺を取り巻く急速な社会状況の変化に柔軟に対応できるように、『ビジョン』の期間は8年間とし、『実行計画』については4年間を1つの期間としています。

この『実行計画』の前期計画期間が令和2（2020）年度をもって満了することから、令和3（2021）年度から令和6（2024）年度までを計画期間とする『後期実行計画』を策定しました。策定に当たっては、施策の連続性確保の観点から、原則として『前期実行計画』に定める施策体系や各施策の目指す姿を承継しながら、振り返りを行うとともに、社会状況の変化を捉えた上で必要な見直しを行いました。



国分寺市の特徴

地理的特性

東京都の中心(重心)、いわゆる東京の「へそ」に位置し、市内にはJR中央線・武蔵野線、西武国分寺線・多摩湖線が縦横に走り、なかでも国分寺駅は多摩地域の交通の要衝になっています。

市のあゆみ

明治22(1889)年の町村制施行で国分寺村が誕生し、昭和15(1940)年の町制施行により国分寺町に、昭和39(1964)年の市制施行によって現在の国分寺市となりました。

史跡・文化財

市の名前の由来となっている国指定史跡武蔵国分寺跡等の史跡や、国の重要文化財である木造薬師如来坐像等の貴重な史跡・文化財が数多く残されています。

自然環境

首都近郊ながら緑と水が豊富な自然に恵まれており、国分寺崖線をはじめとした貴重な樹林地が形成されています。

日本の宇宙開発発祥の地

昭和30(1955)年に日本初のロケット(ペンシルロケット)の水平発射実験が行われた「日本の宇宙開発発祥の地」です。

新幹線技術開発の地

新幹線の技術開発の地としても知られています。戦後、市内に鉄道技術研究所が設立され、この地域は新幹線ひかり号にあやかり、「光町」と名付けられました。

農のあるまち

ほぼ市内全域で住宅と農地が混在し、野菜・植木・果樹など多種多様な農産物が生産されています。国分寺が誇る農畜産物は「こくべじ」という愛称で市内外に親しまれています。

都市基盤

交通、防災、環境、景観等、まちとしての機能や活力を向上させるため、鉄道駅周辺等の拠点整備や都市計画道路の整備など、市民との協働によるまちづくりを進めています。

直面する社会状況と国分寺市の現状

直面する社会状況

超高齢社会の到来

国分寺市の人口は、令和12(2030)年をピークに減少に転じると推計されています。今後、福祉サービスや医療に多額の財源が必要となることが見込まれます。また、人口の減少に伴い、市税の減収も懸念されます。自立的で持続可能なまちづくりを進めることが求められています。

ウィズコロナ・アフターコロナの社会への対応

新型コロナウイルス感染症の拡大により、私たちを取り巻く社会経済環境やライフスタイルは大きく変化しています。新しい生活様式の実践と経済の回復・発展に向けた取組が求められています。

SDGsへの取組

SDGsとは、持続可能な開発目標のことで、令和12(2030)年を達成期限とする世界共通の目標です。国分寺市においても、本計画に位置付ける各施策の推進を通して、成長し、持続可能なまちづくりを進めます。

スマート自治体の推進

国は、これまでにないスピードでデジタル社会の実現に向けた改革を推し進めています。国分寺市においても、デジタル技術を積極的に活用し、より利便性が高い行政サービスの提供と更なる業務の効率化を進めます。

自然環境への配慮

地球規模での環境問題が注目される中、CO₂の排出抑制や再生可能エネルギーの活用など、地球にやさしい都市構造への転換が求められています。市民・事業者・市それぞれが、「環境負荷の少ない持続可能な社会」の実現を目指していくことが求められています。

共生社会の実現

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、都内の市町村で初めて、国の「共生社会ホストタウン」の認定を受けました。全ての人がお互いの人権や尊厳を大切にし、人々の多様な在り方を相互に認め合える「共生社会」の実現を目指すことが求められています。

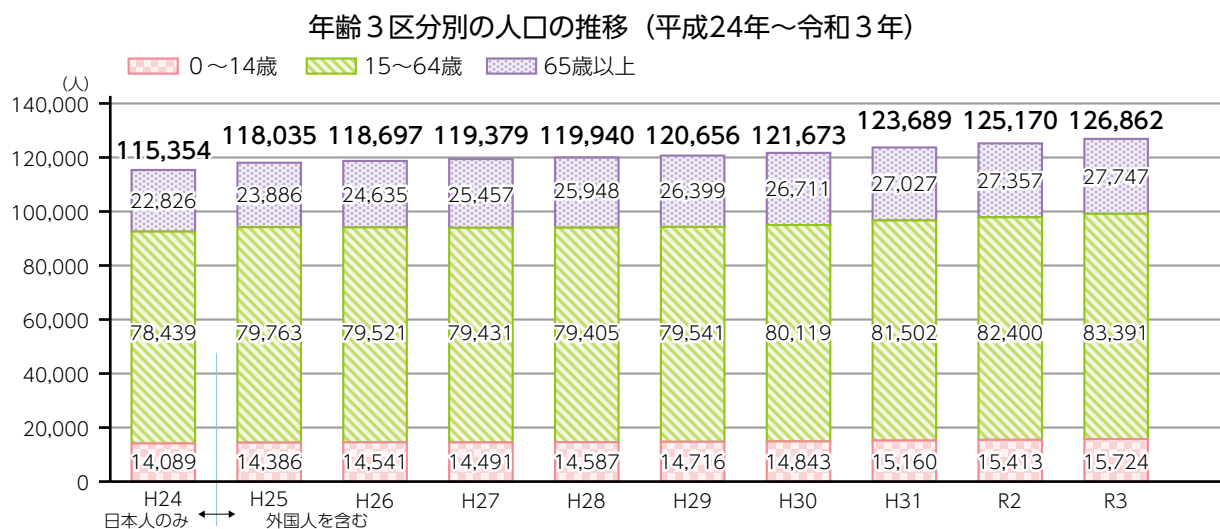
公共施設マネジメントと行財政改革の推進

公共施設については、計画的な修繕・更新を実施し、時期の分散を図っていく必要があります。限りある行政資源を有効に活用し、持続可能な市政運営を実現していくためには、行財政改革の推進により、更なる業務の効率化と将来を見据えた強固な財政基盤の確立が求められます。

国分寺市の人口動態

年齢3区分別人口の推移

平成24（2012）年から令和3（2021）年までの年齢3区分別の人口の推移をみると、平成28（2016）年までは0～14歳人口と15～64歳人口は横ばい又は減少傾向となっていました。近年は増加傾向となっています。65歳以上人口は一貫して増加し、令和3（2021）年には2万8千人に迫ろうとしており、総人口に占める割合は、21.9%で平成24（2012）年と比べて2.1ポイント増加しています。



（出典） 住民基本台帳（平成24年は外国人を含まない。）（国分寺市） 各年1月1日現在

将来人口推計（「国分寺市人口ビジョン（第2版）」より抜粋）

国分寺市の人口は微増傾向で推移し、令和12（2030）年の128,271人でピークを迎えるものと推計されています。その後は減少に転じ、令和42（2060）年には約117,000人になると見込まれています。



（出典） 国分寺市人口ビジョン（第2版）（国分寺市） 各年4月1日時点

国分寺市の財政状況

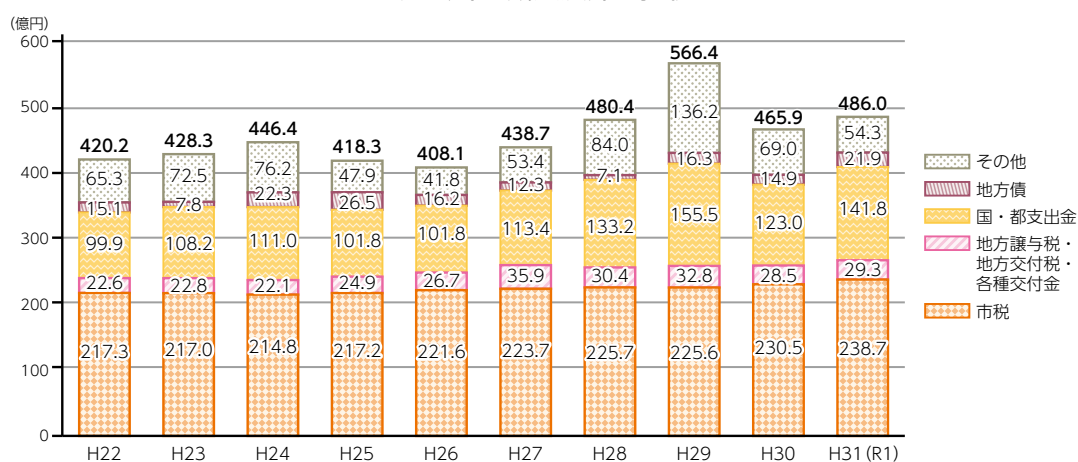
市の歳入

普通会計の歳入において、「市税」はおおむね全体の半分以上を占めています。人口増加の影響や景気の下支えもあり、平成22（2010）年度の約217億円から平成31（令和元・2019）年度には約239億円まで増加しています。また、国や都からの補助金である「国・都支出金」は、平成26（2014）年度以降おおむね増加の傾向にあります。

なお、平成29（2017）年度において「その他」の額が約136億円と大きくなっている主な要因は、国分寺駅北口再開発ビルの保留床処分に伴う繰入金によるものです。

このように、歳入額全体はやや増加傾向にありますが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、今後、「市税」の減収等による財政への影響が懸念されます。

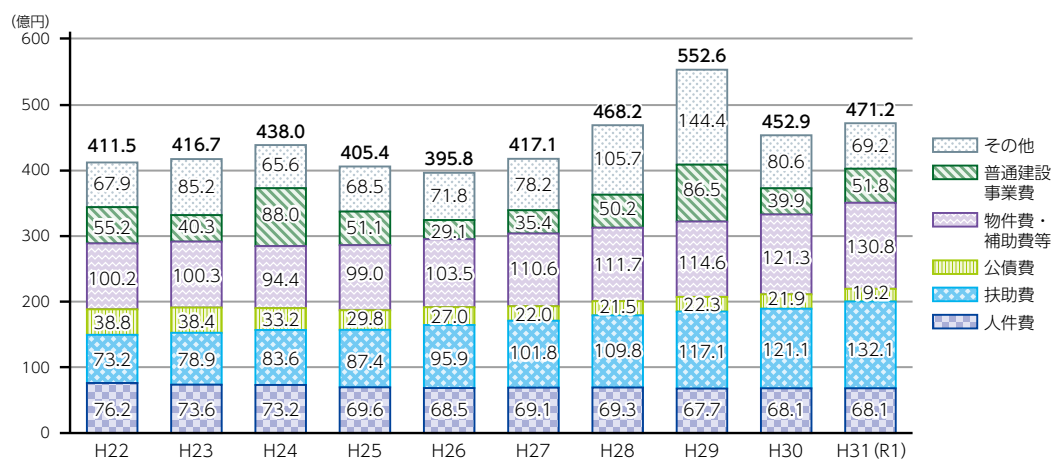
普通会計 歳入決算の推移



市の歳出

歳出において、職員数の適正化や団塊世代の退職等により人件費はやや減少傾向にあったものの、平成26（2014）年度以降はほぼ横ばいとなっています。一方、生活保護費や高齢者・児童・障害者等への支援などの社会保障制度に係る経費である扶助費は、毎年3～9%増加しています。公債費については、借入を抑制してきたこともあり、減少傾向にあります。普通建設事業費は、建物・道路・公園など長期にわたり使用する施設の整備等のために支出される経費であり、平成24（2012）年度と平成29（2017）年度には国分寺駅北口再開発事業に係る支出による増加がありました。

普通会計 歳出決算の推移





国分寺市市民アンケート調査の概要

国分寺市では、市民の生活意識や市の施策に対する考えを把握し、『実行計画』における各施策の進捗管理の基礎資料とするとともに、市政運営のための貴重な情報として活用することを目的に、市民アンケートを毎年実施しています。

令和2（2020）年度国分寺市市民アンケート調査

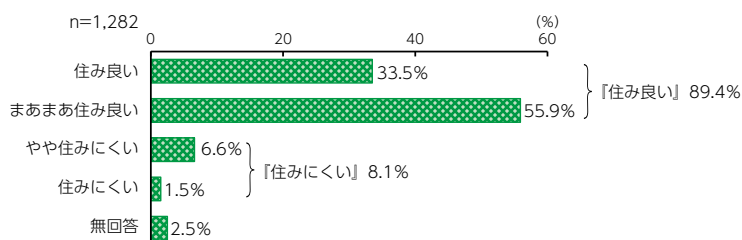
- ・調査対象：令和2（2020）年3月1日時点で、国分寺市に住民登録している満18歳以上の市民
対象人数3,000人
- ・抽出方法：住民基本台帳からの無作為抽出（住民基本台帳に登録されている満18歳以上の在住者を、世代ごとに6区分で抽出）
- ・調査方法：郵送配布、郵送又はインターネット回答
- ・調査期間：令和2（2020）年4月1日から4月23日まで
- ・有効回答数：1,282件（回収率42.7%・うちインターネット回答は318件）

①住みやすさ

「国分寺市を住み良いと感じていますか。」の質問に「住み良い」、「まあまあ住み良い」の回答がそれぞれ33.5%、55.9%であり、2つを合わせた『住み良い』とする回答は、89.4%と約9割を占めています。

一方、「やや住みにくい」、「住みにくい」の回答がそれぞれ6.6%、1.5%であり、2つを合わせた『住みにくい』は8.1%となっています。

また、過去の調査と比較すると、「住み良い」と「まあまあ住み良い」の合計が引き続き約9割を占めています。

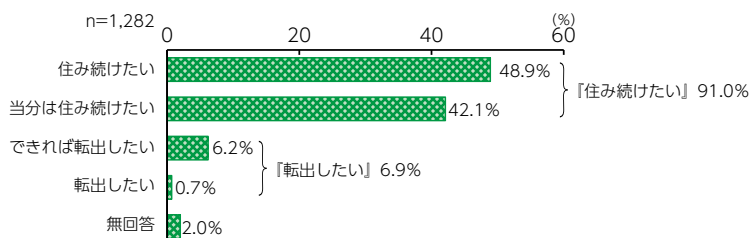


②定住意向

「これからも国分寺市に住み続けたいと思いますか。」の質問に、「住み続けたい」、「当分は住み続けたい」の回答がそれぞれ48.9%、42.1%であり、二つを合わせた『住み続けたい』とする回答は91.0%と9割を超えています。

一方、「できれば転出したい」、「転出したい」の回答がそれぞれ6.2%、0.7%であり、2つを合わせた『転出したい』とする回答は6.9%となっています。

また、過去の調査と比較すると、「住み続けたい」は増加傾向にありますが、「当分は住み続けたい」と合わせた『住み続けたい』は令和元（2019）年度調査から大きな変化はありません。

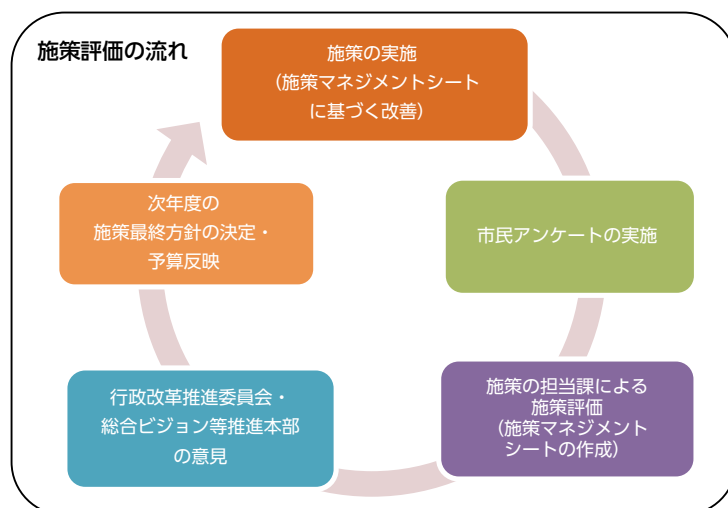


後期実行計画の策定に当たって

これまでの取組に対する評価の実施

『総合ビジョン』に掲げる36の施策については、大局的な視点から課題を整理し、今後の方向性を明らかにすることで、より効率的・効果的に『ビジョン』に掲げる未来のまちの姿の実現につなげることを目的に、毎年度「施策マネジメントシート」による施策評価を実施しています。

『後期実行計画』の策定に当たっては、これまで実施してきた施策評価の結果とともに、施策ごとの指標の達成状況や前期計画期間における成果、社会状況等の変化を踏まえた今後の課題等の整理を行う「前期実行計画レビューシート」による前期実行計画の振り返りを踏まえ、施策の検討を行いました。



後期実行計画の特徴

新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症の拡大により、国分寺市においても、事業の実施方法の変更や延期・中止、公共施設等の臨時休業・休館や利用内容・利用人数の制限等、様々な影響が生じています。

『後期実行計画』に位置付けた中心事業は、マスクの着用や手指の消毒、ソーシャルディスタンスの確保などの感染防止対策を講じて実施することを前提としています。また、これまで対面により実施してきた講座やイベント等の事業については、ICTを活用するなど、接触の機会をできる限り回避する手法を積極的に取り入れていきます。

SDGs 達成への取組

SDGs の達成に向けて取り組むことは、地方自治体が抱える諸課題の解決に貢献し、住み良い環境の確保や、将来にわたり活力があふれる持続可能な社会を実現することにつながります。

国分寺市では、まちづくりの最上位計画である『総合ビジョン』の施策の実行を通して、SDGs の達成に向けた取組を推進していきます。

『後期実行計画』においては、SDGs の達成を念頭において施策の立案を行っており、その取組方針に関連するSDGs のゴールを明記しています。

総合ビジョンと国分寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略の統合

国分寺市では、平成27（2015）年12月に「国分寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、定住化促進、雇用創出、結婚・出産・子育て支援、安心な暮らしなどの観点から取組を進めてきました。

これらの取組の方向やまちづくりの考え方は、『総合ビジョン』の目的や内容と密接に関係していることから、『総合ビジョン』と「国分寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を統合し、一体的に進捗管理を行うことにより、効果的・効率的な施策の推進を図っていきます。

国分寺市ビジョン

未来のまちの姿

市民・事業者等とともにまちづくりを進める上での共通の目標として、「未来のまちの姿」を次のとおり定めます。達成目標年度は、8年後の令和6(2024)年度とします。

魅力あふれ ひとがつながる 文化都市国分寺

未来のまちの姿『魅力あふれ ひとがつながる 文化都市国分寺』を実現するために、次の5つの都市像を定めます。「未来につながる持続可能なまち」の都市像が、その他の各都市像を下から支えることで、効率的かつ効果的に各分野の施策を推進していきます。

分野別の都市像

地域が支え合って子どもの育ち・子育てを支援し、ひとと文化を育み、すべてのひとが将来に向けて歩み続けることのできるまちを目指します。

まちもひととも更なる成長を続けていくため、すべてのひとが互いを尊重し、地域のなかで協力し合って、一人ひとりが活躍できるまちを目指します。

子どもから高齢者まで、障害のあるひともないひと、国分寺で暮らすすべてのひとが自分らしく、いきいき健やかに生活できるまちを目指します。

多様な年代にとって住み良い国分寺であるために、すべてのひとが心安らぎ、快適に過ごせるまちを目指します。

地域の力を支えとして、不断の改革に取り組み、強固な財政基盤を確立していきます。また、市民・事業者等とともにまちの活力と安心を生み出すことで、将来に負担を先送りせず、災害などの不測の事態にも対応できる、未来につながる持続可能なまちを目指します。

ひとと文化を育むまち
子ども・学び・文化

活躍できる成長のまち
地域振興

魅力あふれ
ひとがつながる
文化都市国分寺

いきいき
健やかなまち
保健・福祉

心安らぐ
快適なまち
くらし・環境

未来につながる持続可能なまち

公共経営

まちづくりの基本理念

「未来のまちの姿」及び「分野別の都市像」の実現に向けて、以下に掲げる「まちづくりの基本理念」を念頭に置き、国分寺市ビジョン実行計画に示す施策・事業を展開していきます。

1 とともに進める

「オール国分寺」で
地域課題の解決に取り組めます

社会経済環境が目まぐるしく変化し、また複雑化するなかで、地域課題の発見・解決を行政だけで行うことは困難になっています。市・市民・事業者等が情報を共有し、それぞれが能力を発揮して、参加と協働により、地域課題の発見・解決に取り組むことが必要です。市・市民・事業者等が一丸となった「オール国分寺」でより良い国分寺のまちづくりを進めていきます。

2 とともに高める

国分寺のあふれる魅力を
市民・事業者等とともに高めていきます

国分寺の自然や歴史、恵まれた立地環境は国分寺に住む誰もが魅力とを感じるポイントです。また、市内には、一部のひとにしかな知られていない魅力がまだまだ埋もれている可能性があります。市民・事業者等とともに国分寺の魅力を発掘し、市内外に発信することで、更にまちの魅力を高めていきます。

3 ともにつなげる

国分寺の豊かさを市民・事業者等とともに
未来へつなげていきます

今後も国分寺が発展を続けていくためには、市民・事業者等と力を合わせ、地域の力を高めていくとともに、行財政改革を継続していくことが必要です。市民・事業者等との強いきずなを結ぶとともに、強固な財政基盤を築くことによって、国分寺の豊かさを未来へつなげていきます。

子ども・学び・文化

ひとと文化を育むまち

文化は豊かな心を育み、豊かな心は新たな文化を生み出します。学校教育はもちろんのこと、市民すべてに開かれた学びの場があり、国分寺の歴史と文化を感じられる環境の整備に努めていくことが重要です。

また、次世代を担う子どもたちが健やかに育つことは、国分寺の歴史と文化を将来につなげるためにも不可欠です。地域が支え合って子どもの育ち・子育てを支援し、ひとと文化を育み、すべてのひとが将来に向けて歩み続けることのできるまちを目指します。

史跡武蔵国分寺跡

関連する施策

妊娠・出産・乳幼児支援

主担当課：健康推進課

担当課
子育て相談室
子ども若者計画課

子育て環境整備

主担当課：子ども若者計画課

担当課
子ども子育て事業課
子ども子育てサービス課
子育て相談室

子育て支援サービス

主担当課：子ども子育てサービス課

担当課
子ども若者計画課
子ども子育て事業課
子育て相談室
社会教育課

子ども・若者支援

主担当課：子育て相談室

担当課
子ども若者計画課
子ども子育て事業課
子ども子育てサービス課
健康推進課

文化芸術

主担当課：文化振興課

担当課
公民館課

学校教育

主担当課：学校指導課

教育環境整備

主担当課：教育総務課

担当課
学務課

社会教育

主担当課：社会教育課

担当課
公民館課
図書館課

歴史

主担当課：ふるさと文化財課

人権・男女平等・平和

主担当課：人権平和課

1 妊娠・出産・乳幼児支援

目指す姿

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援が受けられることで、妊産婦とその家族の出産・子育ての不安が軽減され、家族が健やかに生活しています。

まちづくりの指標

現状値

目標値

妊娠・出産期における母子支援の充実に対する満足度

R1

R6

26.3%

30%

妊娠 11 週以下で妊娠届を出した人の割合

R1

R6

95.9%

98%



離乳食講習会

取組方針①



母子保健情報の提供・共有・交換

取組方針②



切れ目のない妊娠・出産・育児支援体制の充実

取組方針③



妊娠期から子育て期における保護者への支援

2 子育て環境整備

目指す姿

子どもの成長に応じた適切な支援が受けられる環境が整備され、子どもが健やかに成長することで、まちに活力が生まれています。

まちづくりの指標

現状値

目標値

子育て施設の整備状況に対する満足度

R1

R6

63.6%

70%

保育施設の待機児童数

R2

R6

94人

0人



令和2年度整備保育園

取組方針①



乳幼児期における保育サービスの充実

取組方針②



就学児童の放課後の活動場所の充実

取組方針③



発達に遅れのある子どもや障害のある子どもへの地域支援体制の整備

3 子育て支援サービス

目指す姿

地域において子どもたちが健やかに成長していける質の高いサービスが提供され、すべての家庭がそれぞれの子育てに合ったサービスを利用でき、安心とゆとりをもって子育て・子育てができています。

まちづくりの指標

現状値

目標値

必要な子育て支援サービスを利用できていると感じる保護者の割合

R1

63%

R6

70%

子育て支援の充実に対する満足度

R1

35%

R6

40%



放課後子どもプラン

取組方針①



子どもの居場所づくりの推進

取組方針②



子育て世帯の経済的負担軽減

取組方針③



地域における子育て支援サービスの充実

4 子ども・若者支援

目指す姿

妊娠期における支援、また、乳幼児から若者までの成長に応じた切れ目のない支援が実施されていることで、育児不安の解消、児童虐待の予防等がなされ、子どもや若者が家庭や地域の中で安全・安心にいきいきと暮らしています。

まちづくりの指標

現状値

目標値

子どもに関する相談場所の認知度

R1

90.2%

R6

93.2%

若者支援に対する認知度

R1

8.6%

R6

12%



東部地区拠点親子ひろば（BOUKEN たまご）

取組方針①



子どもに関する相談体制の充実

取組方針②



子ども子育て地域支援ネットワークの充実

取組方針③



発達相談の支援・連携強化

取組方針④



若者支援の推進

5 文化芸術

目指す姿

市内で様々な文化芸術活動・催しが行われ、市民が身近に文化芸術に触れることができます。

まちづくりの指標

現状値

目標値

市内で文化芸術に触れることができる市民の割合

R1

22.8%

R6

25%

自らが主体となって文化芸術活動をしている市民の割合

R1

29%

R6

31%



国分寺市立いずみホール A ホール

取組方針①



文化芸術に触れる

取組方針②



文化芸術をはぐくむ

取組方針③



文化芸術をつなぐ

取組方針④



文化芸術を広める

6 学校教育

目指す姿

学校と地域社会、関係諸機関の連携のもと、児童・生徒の豊かな人間性や社会性が育まれるとともに、学習意欲が高められ、基礎的・基本的な知識や技能と思考力・判断力・表現力及び体力が培われています。

まちづくりの指標

現状値

目標値

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う小・中学生の割合

R1

小学生 98.0%
中学生 92.7%

R6

小学生 100%
中学生 100%

国語・算数（数学）・理科・社会（中学では英語も加える）の授業内容が分かると思う小・中学生の割合

R1

小学生 91.3%
中学生 79.1%

R6

小学生 97%
中学生 87%



学校授業

取組方針①



人権教育の推進

取組方針②



道徳教育の推進

取組方針③



特別支援教育体制の充実

取組方針④



新しい時代に必要な資質・能力の育成

7 教育環境整備

目指す姿

子どもが安心して意欲的に学べる
質の高い教育環境が整っています。

まちづくりの指標

現状値

目標値

市立小・中学校の環境整備のための工事
実施割合

R2

18.2%

R6

100%



校舎大規模修繕（市立第六小学校）

取組方針①



施設整備の充実

取組方針②



環境変化への柔軟な対応

取組方針③



質の高い学校給食の推進

8 社会教育

目指す姿

誰もがいつでも学べる機会が充実し、学校や地域とともに健やかで心豊かに活動することができています。

まちづくりの指標

現状値

目標値

過去1年間で学びの
体験をしている市民の
割合

R1

73.2%

R6

85.3%

市民が学んだ成果を
地域でいかした事業
数

R1

31事業

R6

37事業



くぬぎカレッジ ラボ

取組方針①



多様な学習機会の充実

取組方針②



自主的な学びの支援

取組方針③



学校・地域との連携と学びをいかす 機会の充実

取組方針④



学習環境の整備

9 歴史

目指す姿

文化財の調査・研究、保存と整備により、歴史遺産をいかした魅力あるまちづくりが進んでいます。また、市民が様々な機会をとらえ、文化財に触れ、親しみ、理解を深めています。

まちづくりの指標

現状値

目標値

史跡武蔵国分寺跡を訪れたことがある市民の割合

R1

72.2%

R6

82%

歴史・文化財の保全に対する満足度

R1

42.9%

R6

50%



史跡武蔵国分寺跡

取組方針①



文化財普及の推進

取組方針②



ふるさと文化財愛護ボランティアの養成と活動支援

取組方針③



文化財の保存・公開活用推進

取組方針④



史跡の保存・整備・活用の推進

10 人権・男女平等・平和

目指す姿

基本的人権が保障され、誰もが性別、国籍等にかかわらず、個性と能力を十分に発揮できています。また、平和に対する取組が市民に広く理解され、平和への意識を持続することができています。

まちづくりの指標

現状値

目標値

人権尊重の意識・取組の浸透度

R2

—

R6

25%

ジェンダー平等の推進度

R2

12.8%

R6

40%



ピースメッセンジャー（原爆ドーム）

取組方針①



多様性への理解促進と人権意識の普及啓発

取組方針②



男女共同参画の推進

取組方針③



平和への意識啓発

地 域振興

活躍できる成長のまち

豊かな自然と歴史に恵まれ、都心へのアクセスが良い国分寺には、まちとして更に発展していく可能性が残されています。また、このまちに住み、働き、学び、活動するすべてのひとにも、未来に向けて活躍の幅を広げる多様な可能性があります。

これらの可能性を最大限に活かし、まちもひととも更なる成長を続けていくため、すべてのひとが互いを尊重し、地域のなかで協力し合って、一人ひとりが活躍できるまちを目指します。

市民農業大学



お鷹の道・真姿の池湧水群

関連する施策

国分寺の魅力

主担当課：市政戦略室

担当課 文化振興課

地域づくり

主担当課：協働コミュニティ課

担当課 地域共生推進課

多文化共生

主担当課：人権平和課

担当課 文化振興課
スポーツ振興課

商工振興・創業

主担当課：経済課

農業振興

主担当課：経済課

スポーツ振興

主担当課：スポーツ振興課

11 国分寺の魅力

目指す姿

市民とともに様々な手法を用いて国分寺の魅力を発掘・発信しています。それにより、市民が市に愛着や誇りを感じ、訪れる人も国分寺に魅力を感じています。

まちづくりの指標

現状値

目標値

国分寺市に対して愛着や誇りを持っている人の割合

R2

R6

—

85%

休日の滞在人口率

R1

R6

0.77倍

1倍



魅力発信リーフレット「東京のおへそ こくぶんじ」

取組方針①



発掘・発信した魅力の更なる定着化

取組方針②



市民協働・公民協働による国分寺のファンづくり

取組方針③



観光まちづくりを推進するための環境整備

12 地域づくり

目指す姿

誰もが気軽にあいさつや話合いができ、互いに支え合い、助け合い、また問題があれば自発的に解決する地域が築かれています。

まちづくりの指標

現状値

目標値

地域福祉の推進に対する満足度

R1

R6

15.4%

18%

過去1年間に地域活動に参加している市民の割合

R1

R6

49.1%

51%



ひとり暮らし高齢者等地域交流事業

取組方針①



市民活動の継続支援

取組方針②



多様な世代による市民活動の活性化

取組方針③



地域づくりを担う人材の育成と参画の機会の創出

13 多文化共生

目指す姿

在住外国人の生活に必要な情報が周知され、安心して暮らせる環境が整っています。また、国際交流や都市間交流が進み、市民の中に多様な文化を尊重し、「共生」の意識が育まれています。

まちづくりの指標	現状値	目標値
	R1	R6
国際交流・多文化共生の推進に関する満足度	13.3%	20%
	R1	R6
姉妹都市・友好都市に関する認知度・参加度	18.7%	25%



国際交流イベント

取組方針①



多言語での情報提供

取組方針②



在住外国人への相談体制・教育支援の充実

取組方針③



国際理解・国際交流の推進

取組方針④



姉妹都市・友好都市との交流の強化

14 商工振興・創業

目指す姿

個性豊かで魅力ある商店・商店街によりにぎわいが創出されるとともに、創業しやすい環境の整備、雇用情報の拡充が図られることで商工業が活性化しています。

まちづくりの指標	現状値	目標値
	R2	R6
市内事業者の商品品質・サービスに対する満足度	—	29%
	R2	R6
商店会の会員数	716店 (事業所)	750店 (事業所)



商店会主催イベント

取組方針①



創業の支援

取組方針②



商店街の活性化

取組方針③



中小企業の育成・支援の充実

取組方針④



就労の支援

15 農業振興

目指す姿

身近に消費者がいる都市農業の強みをいかして、地域に根ざした農業生産と消費のサイクルを推進することにより、市内農業者の農業経営を強化・安定化し、国分寺の農業が活性化しています。

まちづくりの指標

現状値

目標値

地場産農畜産物の購入率

R2

R6

—

49%

認定農業者数

R2

R6

91人

95人



こくベジのじかん クリスマス・マルシェ

取組方針①



個々の農業経営改善への支援

取組方針②



都市農地の保全の取組

取組方針③



都市農業の担い手育成の取組

取組方針④



こくベジプロジェクトによる地産地消の推進

16 スポーツ振興

目指す姿

誰もがいつでもどこでもいつまでも気軽に楽しむことのできるスポーツ環境が整備され、健康の維持増進から競技能力向上まで、それぞれのスタイルでスポーツに親しめる環境が整っています。

まちづくりの指標

現状値

目標値

スポーツ振興に対する満足度

R1

R6

9.6%

13%

市内小・中学生の体力合計点
(都平均との点差)

R1

R6

男+0.8点
女+0.5点

男+1.0点
女+0.7点



ベトナム パラ・パワーリフティング選手団による小学校訪問

取組方針①



生涯スポーツの推進

取組方針②



体育施設の適切な保全・機能向上

取組方針③



スポーツの活動支援の充実

保 いきいき健やかなまち 健・福祉

人口減少、少子高齢化など社会環境が変化するなかにあっても、市民が健康で、社会参画する機会や経験したことを社会に還元する機会を持ち、生きがいのある生活が続けることができれば、まちの活力は更に高まるものと考えられます。

健康は身体だけでなく、心や生活環境の問題とも大きく関わってくることから、困った時に相談ができ、支援が受けられる体制を整えることで、子どもから高齢者まで、障害のあるひととないひと、国分寺で暮らすすべてのひとが自分らしく、いきいき健やかに生活できるまちを目指します。



ヘルプカード



健康講座

関連する施策

高齢者福祉

主担当課：高齢福祉課

担当課 地域共生推進課
健康推進課

障害者福祉

主担当課：障害福祉課

担当課 地域共生推進課
健康推進課
子ども若者計画課

生活福祉

主担当課：生活福祉課

担当課 地域共生推進課

健康づくり

主担当課：健康推進課

担当課 地域共生推進課
保険年金課

17 高齢者福祉

目指す姿

医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域の支援体制が構築されることにより、人生の最後まで住み慣れた地域で自分らしく生活できる環境が整っています。

まちづくりの指標

現状値

目標値

在宅で生活する高齢者の割合

R1

71.8%

R6

74.3%

住民主体の組織による協議体設置数

R1

0団体

R6

6団体



介護予防・フレイル予防支援強化事業（暮らしを拓げる10の筋力トレーニング）

取組方針①



切れ目のない在宅医療と介護の実現のための多職種による連携の推進

取組方針②



認知症をはじめとした支援を要する高齢者の見守り体制の推進

取組方針③



住民による地域活動の担い手や介護人材の確保

取組方針④



住民主体による地域で集う場所の充実と高齢者の参加促進

18 障害者福祉

目指す姿

障害のある人もない人も、社会の一員として、互いを尊重し、支え合いながら、ともに生きがいを持っていきいきと暮らせる環境が整っています。

まちづくりの指標

現状値

目標値

障害のある人のうち、在宅又はグループホームで生活している人の割合

R1

77.4%

R6

80%

障害のある人の一般就労者数

R1

42人

R6

47人



災害時等障害者支援バンダナ（着用イメージ）

取組方針①



地域で安心して暮らし続けるための環境整備

取組方針②



自分らしくいきいきと働くための支援

取組方針③



誰もが支え合う地域づくり

19 生活福祉

目指す姿

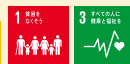
生活に困窮した市民が、それぞれに必要な支援を受けています。その支援によって、安定した生活を送り、着実に自立に向かっていきます。

まちづくりの指標	現状値	目標値
	R2	R6
生活困窮者の相談窓口の認知度	—	10%
	R1	R6
生活保護世帯のうち、就労により生活保護が廃止となった世帯の数	15世帯	17世帯



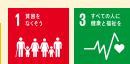
生活福祉関連事業パンフレット

取組方針①



生活困窮者への支援

取組方針②



生活保護被保護者への自立支援

取組方針③



生活保護被保護者への就労支援

取組方針④



ひとり親家庭への自立支援

20 健康づくり

目指す姿

子どもから高齢者まで、すべての人が地域で支え合いながらライフステージに応じた健康づくりに取り組み、健康的な生活を送ることができています。

まちづくりの指標	現状値	目標値
	R1	R6
かかりつけ医がいる市民の割合	医科: 70.5% 歯科: 63.4%	医科: 77% 歯科: 71%
	R1	R6
日常生活で歩く時間が、1日30分以上の市民の割合	77.2%	81%



食育講座

取組方針①



必要な情報が得られる環境づくり

取組方針②



正確に健康状態を把握するための支援

取組方針③



市民自らが行う健康づくりの支援

取組方針④



地域の団体等による健康づくり活動の支援



心安らぐ快適なまち

らし・環境

都心に近いにもかかわらず自然を感じられることは、国分寺の大きな魅力の一つです。国分寺の自然環境、住環境を守り、次の世代に国分寺の良さを引き継いでいくことが大切です。また、すべてのひとが国分寺で安心して暮らし続けていくためには、まちの快適性・利便性・安全性を更に高めていくとともに、災害や犯罪への対策を強化することも欠かせません。

多様な年代にとって住み良い国分寺であるために、すべてのひとが心安らぎ、快適に過ごせるまちを目指します。



国分寺の自然と国分寺駅北口再開発ビル



関連する施策

自然環境・生活環境

主担当課：まちづくり計画課

担当課
まちづくり推進課
緑と建築課
環境対策課

ごみ・リサイクル

主担当課：環境対策課

担当課
ごみ減量推進課

市街地整備

主担当課：まちづくり計画課

担当課
まちづくり推進課
駅周辺整備課

交通安全

主担当課：交通対策課

担当課
道路管理課

道 路

主担当課：建設事業課

担当課
まちづくり計画課
道路管理課

下 水 道

主担当課：下水道課

公 園

主担当課：緑と建築課

防 災

主担当課：防災安全課

担当課
建築指導課
まちづくり推進課

防 犯

主担当課：防災安全課

消費生活

主担当課：経済課

21 自然環境・生活環境

目指す姿

地球にやさしく、緑と水が調和した潤いのあるまち、環境に配慮した良好なまちづくりが行われ、国分寺の身近で豊かな自然環境、安全・安心な生活環境が子どもたちに引き継がれています。

まちづくりの指標	現状値	目標値
	R1	R6
自然環境の保護・保全に対する満足度	31.2%	34%
	R1	R6
生活環境の保全に対する満足度	22.3%	25%



環境シンポジウム

取組方針①



自然環境の管理・保全の仕組みづくりと運用

取組方針②



地球環境への配慮

取組方針③



公害防止による生活環境の保全

取組方針④



空き家・空き地対策

22 ごみ・リサイクル

目指す姿

市民・事業者等と市がそれぞれの役割で協力し合いながら、ごみの排出抑制や分別処理を続けることにより、ごみの減量・資源化が促進され、清潔で住みやすいまちとなっています。

まちづくりの指標	現状値	目標値
	R1	R6
一人1日当たりごみ排出量	628.6g	589.1g
	R1	R6
総資源化率	43.7%	46.0%



3R 講座

取組方針①



ごみ・資源物の安定的かつ効率的な処理

取組方針②



ごみの減量の推進

取組方針③



ごみの資源化の推進

取組方針④



事業系廃棄物の適正処理

23 市街地整備

目指す姿

鉄道駅周辺や史跡周辺、大規模公園等を中心とした一帯における拠点の整備が進み、まちに活気があります。また、快適で利便性の高い都市生活を営むことができ、誰もが安全・快適に暮らすことができます。

まちづくりの指標

現状値

目標値

市内の駅の1日平均の乗車人員・乗降人員数

R1

R6

272,314人

288,211人

市街地整備の推進に対する満足度

R1

R6

20%

25%



国分寺駅北口周辺

取組方針①



拠点整備の推進

取組方針②



都市計画道路沿道のまちづくりの推進

取組方針③



暮らしやすいまちの形成に向けたまちづくりの推進

24 交通安全

目指す姿

交通ルールやマナーを遵守するための啓発活動や施設等整備を行うことにより、誰もが安全で安心な交通環境が整っています。

まちづくりの指標

現状値

目標値

交通事故発生件数

R1

R6

152件

118件以下

市内の自転車利用者の運転・駐車マナーが守られていると感じる市民の割合

R1

R6

28.1%

38%



交通安全教室

取組方針①



交通安全意識の向上

取組方針②



放置自転車対策の推進

取組方針③



交通安全施設の継続的な整備及び維持管理

25 道路

目指す姿

都市計画道路をはじめとした幹線道路等の整備や適切な道路改修により、市民が利用しやすい、安全で快適な道路の整備が進んでいます。

まちづくりの指標

現状値

目標値

市の道路が市内外や拠点へアクセスしやすいと感じる市民の割合

R1

39.4%

R6

45%

安全で快適な道路環境が確保されていると感じる市民の割合

R1

22.3%

R6

30%



道路の適切な維持管理（市道西3号線）

取組方針①



自動車交通を円滑に処理することのできる道路ネットワークの確立

取組方針②



安全・快適に歩くことのできる道路ネットワークの確立

取組方針③



道路及び橋りょうの適切な維持管理

26 下水道

目指す姿

下水道施設の整備と適切な維持管理が行われ、安全・安心で衛生的な環境が保たれています。

まちづくりの指標

現状値

目標値

ストックマネジメント事業の進捗率

R2

4.0%

R6

18%



デザインマンホール【ペンシルロケット】（早稲田実業学校付近）

取組方針①



下水道施設の計画的な維持管理

取組方針②



雨水への対策

27 公園

目指す姿

市民が日々の生活にうおいと安らぎを感じることができるように、様々なニーズや地域特性を踏まえた、市民に親しまれる公園・緑地が整備されています。また、市民や事業者等と市が役割分担のもと、協働で緑と水を守り、つくり、育てています。

まちづくりの指標

現状値

目標値

憩いの場としての市内の公園や緑地に対する満足度

R1

R6

35.8%

38.3%

市内の公園・緑地の総面積

R2

R6

143,995m²

148,395m²



内藤さつき公園

取組方針①



公園・緑地の計画的な整備

取組方針②



公園・緑地の総合的な維持管理

取組方針③



市民や事業者等との協働による維持管理や情報発信の推進

28 防災

目指す姿

市民一人ひとりの防災意識が向上し、自らが取り組む「自助」に加え、地域住民同士が助け合う「共助」と、行政が行う防災対策等の「公助」により、災害に強いまちとなっています。

まちづくりの指標

現状値

目標値

市の防災対策の充実に対する満足度

R1

R6

15.2%

19.2%

災害に備えて防災対策をしている市民の割合

R1

R6

82.1%

86.6%



市民防災まちづくり学校

取組方針①



自助力強化のための啓発及び支援

取組方針②



共助力強化による地域防災力の向上

取組方針③



防災体制・消防力の強化

取組方針④



危機管理体制の向上

29 防 犯

目指す姿

市・市民・警察及び関係機関が連携を深め、地域の防犯意識の啓発と防犯活動の充実により、犯罪が未然に防止され、市民が安全・安心に暮らしています。

まちづくりの指標

現状値

目標値

国分寺市が治安の良いまちだと感じる市民の割合

R1

R6

79.1%

82.6%

刑法犯発生件数

R1

R6

688件

471件



防犯リーダー養成講習会

取組方針①



特殊詐欺被害防止のための取組

取組方針②



市・市民・警察・関係機関のネットワークづくり

取組方針③



地域の防犯意識の向上と防犯活動の支援

取組方針④



まちづくりにおける安全・安心の環境整備

30 消費生活

目指す姿

消費者が必要な情報を得られるとともに、消費者トラブルなどの際に相談できる場等が確保され、安心して消費生活を送ることができています。

まちづくりの指標

現状値

目標値

消費者トラブルに関する相談窓口を知っている市民の割合

R2

R6

—

65%

消費生活相談の解決率

R1

R6

93.9%

95%



学齢期等消費者講座

取組方針①



消費生活相談体制の強化

取組方針②



消費者教育の推進

取組方針③



消費者見守りネットワークの強化

公 共 経 営

未来につながる持続可能なまち

自然災害の増加、経済を支える生産年齢人口の減少など、自治体が直面する課題は年々厳しいものになっています。さらに、ライフスタイルの多様化やICT(情報通信技術)の進展などにより、市民ニーズも多様化・高度化しています。

このような社会の変化や市民ニーズにもしっかりと応えていくため、公共経営の視点から、地域の力を支えとして、不断の改革に取り組み、強固な財政基盤を確立していきます。また、市民・事業者等とともにまちの活力と安心を生み出すことで、将来に負担を先送りせず、災害などの不測の事態にも対応できる、未来につながる持続可能なまちを目指します。



こくぶんじ市民活動センター(アクティ・ココブンジ)

関連する施策

市政情報・情報共有

主担当課：市政戦略室

担当課 政策法務課
情報管理課

市民参加・協働

主担当課：政策経営課

担当課 協働コミュニティ課
職員課

行政改革

主担当課：政策経営課

担当課 情報管理課
公共施設整備推進室

財政運営

主担当課：財政課

担当課 市政戦略室
納税課
道路管理課
契約管財課

庁舎

主担当課：公共施設整備推進室

担当課 情報管理課
政策経営課

職員育成

主担当課：職員課

31 市政情報・情報共有

目指す姿

様々な情報発信ツールの活用により、市の施策・イベント等に関する情報を市民と共有することができています。また、市民の意見が、情報発信内容の改善にいかされています。

まちづくりの指標

現状値

目標値

必要とする情報が得られていると感じている市民の割合

R1

R6

53.0%

57%



広報番組「国分寺ぶんぶんチャンネル」撮影風景

取組方針①



電子媒体を活用した市政情報の発信力強化

取組方針②



情報公開の推進

取組方針③



市民の声の広報活動への活用

32 市民参加・協働

目指す姿

年齢・性別等の枠を超えた幅広い市民が市政に参加するとともに、市民・事業者等と市が協働して地域課題の発見・解決に取り組み、市民自治の推進・拡大が図られています。

まちづくりの指標

現状値

目標値

市政に参加したことがある市民の割合

R2

R6

—

40%

協働によるまちづくりが進んでいると感じる市民の割合

R1

R6

37.2%

50%



市民ワークショップ

取組方針①



誰もが市政に参加しやすい仕組みの構築

取組方針②



協働推進の担い手となる人材の育成

取組方針③



こくぶんじ市民活動センターの機能強化

取組方針④



事業者等との連携による地域課題の共有・解決の推進

33 行政改革

目指す姿

行政改革が着実に進められ、市民満足度の高い行政サービスが提供されているとともに、持続可能な市政運営が行われています。

まちづくりの指標

現状値

目標値

市の提供するサービスが向上・改善していると感じる市民の割合

R2

R6

—

40%

目標を達成しているまちづくりの指標の割合

R2

R6

—

100%



Web 会議の様子

取組方針①



持続可能な市政運営

取組方針②



効率的・効果的な行政サービスの提供

取組方針③



社会環境の変化に対応する業務改革の推進

取組方針④



公共施設等マネジメントの更なる推進

34 財政運営

目指す姿

社会の変化や市民ニーズにもしっかりと対応できる強固で弾力的な財政基盤が確立されています。また、将来に負担を先送りしない中長期的視点に立った持続可能な財政運営が行われています。

まちづくりの指標

現状値

目標値

基金残高

R1

R6

財政調整基金
49.1億円
公共施設整備基金
26.3億円

財政調整基金
30億円
公共施設整備基金
20億円

経常収支比率

R1

R6

94.5%

90%
台前半



ふるさと納税お礼の品（ペンシルロケットレプリカ）

取組方針①



堅実な財政運営による財政規律の維持

取組方針②



より強固で弾力的な財政体質の確立

取組方針③



財源確保のための取組

取組方針④



統一的な基準による地方公会計の積極的な活用

35 庁舎

目指す姿

新庁舎の建設により、行政サービスの拠点が集約され、良質な行政サービスが提供されるとともに、市民活動の拠点になっています。また、地震等の災害時の拠点としても十分な機能を備えています。

まちづくりの指標

現状値

目標値

新庁舎建設の進捗度

R2

R6

基本計画
策定

新庁舎竣工
しゅん



国分寺市役所第1庁舎

取組方針①



市民と職員の双方が使いやすい庁舎の建設

取組方針②



庁舎移転に伴う文書量・物品量の適正化

取組方針③



窓口サービスの向上及び業務の効率化

取組方針④



庁舎移転後の現庁舎用地の利活用

36 職員育成

目指す姿

職員が公共経営に必要な知識・能力・意欲の向上を図り、市民サービスの質の向上に反映されています。

まちづくりの指標

現状値

目標値

人事考課最終評価
平均点

R1

R6

3.27点

3.58点

市職員の対応に
対する満足度

R1

R6

28.3%

32%



庁内研修

取組方針①



職員の資質及び能力の向上

取組方針②



チャレンジと成果が評価につながる制度の運用

取組方針③



多様化する行政課題に対応できる知識や能力を持つ職員の育成

取組方針④



良好な職場環境を整備するための意識の醸成

国分寺市ビジョン後期実行計画に位置付けた36の施策とSDGsの17のゴールとの関係

該当するSDGs		1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
施 策								
子ども・学び・文化	1 妊娠・出産・乳幼児支援			●		●		
	2 子育て環境整備			●	●	●		
	3 子育て支援サービス			●	●	●		
	4 子ども・若者支援			●	●			
	5 文化芸術				●			
	6 学校教育				●			
	7 教育環境整備				●			
	8 社会教育				●			
	9 歴史				●			
	10 人権・男女平等・平和			●	●	●		
地域振興	11 国分寺の魅力							
	12 地域づくり							
	13 多文化共生				●			
	14 商工振興・創業							
	15 農業振興		●					
	16 スポーツ振興			●	●			
保健・福祉	17 高齢者福祉			●				
	18 障害者福祉			●	●			
	19 生活福祉	●		●				
	20 健康づくり			●				
くらし・環境	21 自然環境・生活環境			●			●	●
	22 ごみ・リサイクル							
	23 市街地整備							
	24 交通安全			●				
	25 道路							
	26 下水道						●	
	27 公園							
	28 防災							
	29 防犯							
	30 消費生活							
公共経営	31 市政情報・情報共有							
	32 市民参加・協働							
	33 行政改革							
	34 財政運営							
	35 庁舎							●
	36 職員育成					●		

8 働きがいも 経済成長も	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	10 人や国の不平等 をなくそう	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	14 海の豊かさを 守ろう	15 陸の豊かさも 守ろう	16 平和と公正を すべての人に	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
●								●	●
		●							
				●					
			●						
			●						
●		●	●					●	
●			●						●
			●						●
		●							
●	●								
●							●		
								●	
●		●	●						
●		●							
			●		●		●		●
			●	●	●	●	●		
	●		●						●
			●						
	●		●						
			●						
			●				●		●
			●		●				
				●				●	
								●	
								●	
								●	
●	●		●					●	●
●	●		●						●
●	●		●						●
●	●		●	●	●				●
●								●	

国分寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第2期)

国分寺市では、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「東京都総合戦略」を勘案し、平成27年10月に、令和元年度までを計画期間とする「国分寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第1期）」（以下「第1期市総合戦略」といいます。）を策定し、地方創生に向け取り組んできました。

国分寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略と総合ビジョンの統合

「国分寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「市総合戦略」といいます。）における取組の方向やまちづくりの考え方は、『総合ビジョン』の目的や内容と密接に関係しています。そのため、「第1期市総合戦略」の計画期間を1年間延長した上で、「市総合戦略」と『総合ビジョン』を統合することにより、「国分寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）」を策定します。このことにより、両者を一体的に管理することで、効率的・効果的な施策の推進を図っていきます。

年度	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7～ (2025～)
ビジョン	H29年度～R6年度（8年間）								
実行計画	前期（4年間）：H29年度～R2年度				後期（4年間）：R3年度～R6年度				
市総合戦略	H27年度～R1年度（5年間） ＜第1期＞			延長*					

※平成27年度の計画策定時点では、令和元年度までを計画期間としていましたが、『総合ビジョン』と統合するため、1年間延長しています。

市総合戦略における基本目標と取組・指標

『後期実行計画』に位置付けた施策・事業のうち、以下に掲げる「市総合戦略」の各基本目標の達成に寄与する取組を『国分寺市ビジョン』の各分野より横断的に選定し位置付けます。

基本目標 1 まちの魅力の発掘・発信により交流人口を多く獲得し、定住化を促進

基本目標 2 安定した雇用を創出し、若い世代の結婚・出産・子育ての希望を実現

基本目標 3 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携

あわせて、各基本目標の達成状況を測るための「数値目標」について、『後期実行計画』の「まちづくりの指標」より適切なものを選定し設定しています。

総合ビジョン

まちづくりの指標

設定

市総合戦略

数値目標

各基本目標の数値目標と具体的な取組

基本目標 1

まちの魅力の発掘・発信により交流人口を多く獲得し、定住化を促進

数値目標

指標名	現状値	目標値（R6）	該当ページ
休日の滞在人口率	0.77倍 (R1)	1倍	p15
市内の駅の1日平均の乗車人員・乗降人員数	272,314人 (R1)	288,211人	p23

具体的な取組

分野	施策	取組方針	該当ページ
子ども・学び・文化	5 文化芸術	①文化芸術に触れる	p11
		②文化芸術をはぐくむ	
		③文化芸術をつなぐ	
		④文化芸術を広める	
	9 歴史	①文化財普及の推進	p13
		②ふるさと文化財愛護ボランティアの養成と活動支援	
		③文化財の保存・公開活用の推進	
		④史跡の保存・整備・活用の推進	
地域振興	11 国分寺の魅力	①発掘・発信した魅力の更なる定着化	p15
		②市民協働・公民協働による国分寺のファンづくり	
		③観光まちづくりを推進するための環境整備	
	14 商工振興・創業	②商店街の活性化	p16
環境・暮らし	15 農業振興	④こくベジプロジェクトによる地産地消の推進	p17
	21 自然環境・生活環境	④空き家・空き地対策	p22
	23 市街地整備	①拠点整備の推進	p23
		②都市計画道路沿道のまちづくりの推進	
		③暮らしやすいまちの形成に向けたまちづくりの推進	

基本目標 2

安定した雇用を創出し、若い世代の結婚・出産・子育ての希望を実現

数値目標

指標名	現状値	目標値 (R6)	該当ページ
子育て施設の整備状況に対する満足度	63.6% (R1)	70%	p9
必要な子育て支援サービスを利用できていると感じる保護者の割合	63% (R1)	70%	p10

具体的な取組

分野	施策	取組方針	該当ページ
子ども・学び・文化	1 妊娠・出産・乳幼児支援	①母子保健情報の提供・共有・交換 ②切れ目のない妊娠・出産・育児支援体制の充実 ③妊娠期から子育て期における保護者への支援	p9
	2 子育て環境整備	①乳幼児期における保育サービスの充実 ②就学児童の放課後の活動場所の充実 ③発達に遅れのある子どもや障害のある子どもへの地域支援体制の整備	p9
	3 子育て支援サービス	①子どもの居場所づくりの推進 ②子育て世帯の経済的負担軽減 ③地域における子育て支援サービスの充実	p10
	4 子ども・若者支援	①子どもに関する相談体制の充実 ②子ども子育て地域支援ネットワークの充実 ③発達相談の支援・連携強化 ④若者支援の推進	p10
地域振興	14 商工振興・創業	①創業の支援 ③中小企業の育成・支援の充実 ④就労の支援	p16

基本目標 3

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携

数値目標

指標名	現状値	目標値（R6）	該当ページ
市の防災対策の充実に対する満足度	15.2% (R1)	19.2%	p25
市の提供するサービスが向上・改善していると感じる市民の割合	—	40%	p29

具体的な取組

分野	施策	取組方針	該当ページ
暮らし・環境	24交通安全	③交通安全施設の継続的な整備及び維持管理	p23
	28防災	①自助力強化のための啓発及び支援	p25
		②共助力強化による地域防災力の向上	
		③防災体制・消防力の強化	
		④危機管理体制の向上	
	29防犯	①特殊詐欺被害防止のための取組	p26
		②市・市民・警察・関係機関のネットワークづくり	
		③地域の防犯意識の向上と防犯活動の支援	
		④まちづくりにおける安全・安心の環境整備	
公共経営	32市民参加・協働	④事業者等との連携による地域課題の共有・解決の推進	p28
	33行政改革	①持続可能な市政運営	p29
		②効率的・効果的な行政サービスの提供	
		③社会環境の変化に対応する業務改革の推進	
		④公共施設等マネジメントの更なる推進	
	35庁舎	①市民と職員の双方が使いやすい庁舎の建設	p30
		④庁舎移転後の現庁舎用地の利活用	

進めよう！ S D G s

～魅力あふれ 未来につながる 持続可能なまちづくり～

『国分寺市ビジョン後期実行計画』は、S D G s の達成を念頭に立案された各施策の推進を通して、成長し、持続可能なまちづくりを目指すものです。『国分寺市総合ビジョン』の巻末には、皆さんにS D G s をより身近に感じてもらえるように、特集ページ「進めよう！ S D G s ～魅力あふれ 未来につながる 持続可能なまちづくり～」を掲載しています。

特集ページの作成に当たっては、令和12（2030）年の市政を担う若手職員がワークショップにより「S D G s 推進のために わたしたちにできること」の検討を行い、その検討の一環として地域活性化包括連携協定を締結する事業者（リオン株式会社、学校法人田中育英会 総合学院テクノスカレッジ、株式会社ジェイコム東京）への取材を行いました。

国分寺市は、地域の活性化や課題解決に向けて、今回取材した3事業者を含め16事業者等と地域活性化包括連携協定を締結しており、それぞれの事業者がS D G s の達成に向けた取組を進めています。

本概要版では、特集ページから「S D G s 推進のためにわたしたちができること」を抜粋し、掲載しています。

※ 「進めよう！ S D G s ～魅力あふれ 未来につながる 持続可能なまちづくり～」の詳細な内容については、総合ビジョン本編をご覧ください。



S D G s とは

S D G s（エス・ディー・ジーズ）とは、持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）のことです。平成27（2015）年9月に国連サミットで採択された、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」の令和12（2030）年を達成期限とする世界共通の目標です。

17のゴールとその下に位置付けられた169のターゲット、232の指標で構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。S D G s は、途上国のみならず先進国を含めた全ての国が取り組む必要があるユニバーサル（普遍的）なものであるとともに、それぞれのゴールは密接に関連し、経済・社会・環境の三つの側面のバランスの取れた推進が重要とされています。また、目標の達成には政府、市民、企業といった様々な主体の行動が不可欠です。

若手職員が
考えた!

SDGs推進のためにわたしたちにできること

SDGsは、国連や国が課題に取り組むだけではなく、個人による取組や行動が不可欠であり、私たちの日常生活で簡単に取り組めることもあります。

ワークショップを通じて、令和12（2030）年の市政を担う若手職員が、未来の国分寺のために一人の市民として何ができるのかを話し合いました。

みなさんもSDGsの推進に向けて、ご自身で取り組めることを考えてみませんか？

17のゴール		わたしたちにできること
	目標1 貧困をなくそう あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる。	- 生活に困っている人に対する支援策について情報を収集し、共有します。 - 世界の貧困も考え、フェアトレード商品の購入も心掛けます。
	目標2 飢餓をゼロに 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する。	- 食べられる分だけ買うことを心掛け、食品ロスを減らします。 - 消費期限の近い商品の購入を心掛けます。 - 農畜産物の地産地消を心掛けます。
	目標3 すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。	- スポーツ、まち歩きや家での体操など適度な運動を行います。 - バランスよく健康的な食生活を心掛けます。
	目標4 質の高い教育をみんなに すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。	図書館やICT等を活用しながら生涯学習に取り組み、知識を共有します。
	目標5 ジェンダー平等を実現しよう ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。	- 性別にかかわらず共に協力して育児に取り組みます。 - 仕事と生活の調和の取れた職場づくりに取り組みます。 - 誰もがいきいきと働ける職場づくりに取り組みます。
	目標6 安全な水とトイレを世界中に すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。	- 節水や環境に配慮した排水を心掛けます。 - トイレの適切な利用を心掛けます。
	目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。	- 省エネ家電の利用を心掛けます。 - 家庭や職場で節電を心掛けます。 - 再生可能エネルギーについて関心を持ちます。
	目標8 働きがいも経済成長も 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する。	- 地域の商店街の利用やこくベジなどの地場産の農畜産物を購入するよう心掛けます。 - 多様な働き方やワーク・ライフ・バランスを尊重します。

17のゴール	わたしたちにできること
目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう 強靱（レジリエント）なインフラ構築，包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。	・国分寺市の特徴である研究所施設などについて関心を持ちます。 ・家庭でもお店でもこくベジなどの地場産の農畜産物を選びます。
目標10 人や国の不平等をなくそう 各国内及び各国家間の不平等を是正する。	・障害の有無や国籍にかかわらず，多様な住民と交流を深めます。 ・市民会議，懇談会などに積極的に参加して意見を伝えます。
目標11 住み続けられるまちづくりを 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。	・日頃から防災や避難場所・経路に関する情報収集を行います。
目標12 つくる責任 つかう責任 持続可能な消費生産形態を確保する。	・環境に配慮した商品や障害者支援につながる商品の購入など，エシカル消費を心掛けます。 ・使い捨て商品を必要以上に使用せず，リサイクル可能なものを使用します。
目標13 気候変動に具体的な対策を 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。	・温室効果ガス（CO₂）の削減に向け，マイバッグ・マイストローを使います。 ・環境配慮に関する情報収集を行います。 ・節水，節電を心掛けます。
目標14 海の豊かさを守ろう 持続可能な開発のために，海洋・海洋資源を保全し，持続可能な形で利用する。	・レジ袋の使用を控えたり，プラスチックごみを適切に分別したりすることにより，海を守ります。 ・環境に配慮した商品の利用を心掛けます。 ・水環境にやさしい洗剤を使用します。
目標15 陸の豊かさを守ろう 陸域生態系の保護，回復，持続可能な利用の推進，持続可能な森林の経営，砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。	・宅地への植栽や生垣づくりにより，緑の保全を心掛けます。 ・地域の清掃活動，公園の手入れに積極的に関わります。 ・森林から作られる資源を大切にします。
目標16 平和と公正をすべての人に 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し，すべての人々に司法へのアクセスを提供し，あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。	・犯罪や暴力を許さない社会を作ります。 ・地域の子どもを見守り，虐待など危険な兆候がないか目配りします。 ・近隣の住民の悩みを理解するよう努めます。
目標17 パートナリシップで目標を達成しよう 持続可能な開発のための実施手段を強化し，グローバル・パートナーシップを活性化する。	・地域の住民をお互いに理解し，尊重します。 ・地域のイベントに参加し，つながりを深めます。 ・様々なパートナーとともに誰一人取り残さない地域を目指します。

※17のゴールは，外務省が日本語訳したもの（関係各省庁においても同訳を引用）

平成29年度～令和6年度

国分寺市 総合ビジョン

Kokubunji City Comprehensive Vision

令和3年度～令和6年度
国分寺市ビジョン後期実行計画

概要版



国分寺市総合ビジョン 概要版

発行者 国分寺市

〒185-8501 東京都国分寺市戸倉1-6-1

電話 042-325-0111(代表)

編集 国分寺市 政策部 政策経営課

ホームページ <https://www.city.kokubunji.tokyo.jp/>